

令和8年5月19日

報道機関各位

青森県総合政策部統合新病院開設準備室

第1回統合新病院ユニバーサルデザイン・ワークショップについて

このことについて、下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

- 1 日 時 令和8年5月23日（土） 13：30～15：30（県ろうあ協会以外）
14：00～16：00（県ろうあ協会）
- 2 場 所 青森市民病院
- 3 内 容 別添による
- 4 取材に当たっての留意事項
 - ・ 会場では係員の指示に従ってください。
 - ・ 取材にあたっては、5月22日（金）12時までに担当者あてに、取材方法（人数、カメラの有無、取材したい者等）をお知らせください。
 - ・ 当日13時から13時30分まで青森市民病院3階大会議室前にて報道機関向けの受付及び駐車場免除手続を行います。
 - ・ 見学中は参加者へのインタビューをお控えください。ワークショップ終了後、参加者、主催者及びファシリテーターによる取材対応を予定しています。
 - ・ ワークショップはすべて公開することとし、ワークショップ参加者には報道機関が取材（撮影含む）する可能性についてお知らせしていますが、インタビュー等を行う際にはお声がけするなどの配慮をお願いします。

報道機関用提供資料		
担当室	統合新病院開設準備室（整備担当）	越田
担当者	室 直 通 017-753-0238（直通）	
報 道 監 総合政策部 次長 田澤 謙吾		

統合新病院整備事業におけるユニバーサルデザイン ワークショップの開催について

R8.5.19_統合新病院開設準備室

目的と背景

バリアフリー法への適合にとどまらず、障がいのある方や高齢者等の当事者視点を取り入れた「利用しやすい施設」の実現

- 多くの人が利用する統合新病院は「建築物移動等円滑化基準」への適合が必須
- 国交省は令和7年5月に「建築プロジェクトの当事者参画ガイドライン」策定し、当事者参加を推進

期待される効果

- 満足度の向上：実際の利用者に即した使い勝手の良い環境整備
- 理解と信頼：整備プロセスを公開・共有することによる理解の促進と信頼の醸成
- 手戻りの防止：設計段階での課題解決による、完成後の改修リスク低減

ワークショップ参画メンバー

- 障がい者・高齢者・介護・子育て団体から推薦いただき、利用者の視点でワークショップに参画していただく。

分野	団体名	分野	団体名
身体障がい	青森県身体障害者福祉協会	発達障がい	青森県自閉症協会
聴覚障がい	青森県ろうあ協会	聴覚障がい	青森県難聴者・中途失聴者協会
視覚障がい	青森県視覚障害者福祉会	知的障がい	青森県手をつなぐ育成会
難病	青森県難病団体連絡協議会	障がい	自立生活センターPingあおもり
重症心身	青森県重症心身障害児(者)を守る会	介護施設	青森県老人福祉協会
医ケア	けっぱれ 和and医ケアっ子	介護	青森県介護福祉士会
高齢者	青森県老人クラブ連合会	社会福祉	青森県社会福祉士会
子育て	NPO法人子育て応援隊ココネット		

基本設計段階での取組方針

- 以下の検証テーマについて、全3回のワークショップを実施。

移動・動線	<ul style="list-style-type: none">・ 外部から内部への経路（段差解消、屋根設置）・ 歩行者と車両の分離等の安全性・ EVのサイズ（大型対応）・台数・配置、自動ドアの仕様
機能・設備	<ul style="list-style-type: none">【トイレ】 機能分散、オストメイト、乳幼児対応【待合・診察】 車椅子回転スペース、椅子の高さ・形状【駐車場】 身障者用エリアの配置・乗降幅
情報・その他	<ul style="list-style-type: none">【サイン】 ピクトグラム、文字サイズ、色覚配慮【DX活用】 デジタルサイネージ、視覚障がい者用音声案内等【災害時】 避難計画、警報の可視化

【第1回】 既存施設の確認

目的：既存の利用環境を参考にして具体的・体感的な改良点の洗い出し

- 場所：青森市民病院
- 手法：参加者を3～4グループ程度（1グループ6～7名）に分割、病院スタッフ案内のもと、実際の動線に沿ってウォークスルーを実施
- 主な確認箇所：（外部）アプローチ、駐車場
（内部）外来、検査室、病棟、個室、トイレ等

【第2回】 意見・要望の整理と共有

目的：改良点の共有及び設計与件（制約・法的条件）の理解

- 課題発表・要望整理：第1回で抽出した事項を各グループが発表、新病院に対する当事者意見として取りまとめ
- 設計概要の説明：バリアフリー法への対応状況、新病院の配置図・平面計画案の概要説明
- ポイント：要望を聴くだけでなく、法令や構造上の制約についても参加者と共有し、現実的な議論の土台を作る。

【第3回】 設計への反映内容の検証

目的：図面では分からない「スケール感」の確認と合意形成

- 意見への回答：当事者意見に対し、設計に「反映可能」か「困難」かを回答。採用困難なものは、その理由（法規制、コスト等）を説明（代替案の検討・次善策の提案）
- 仮設による原寸確認：スペース確認が必要な箇所（トイレ、廊下幅、診察室等）について実施
- 手法：床にテープを貼るなどして、実際の広さ・距離感を再現し、物理的なシミュレーションを行い検証

今後のスケジュール

- 5月23日 第1回ワークショップ
- 6月27日 第2回ワークショップ
- 7月18日 第3回ワークショップ
- 10月頃：基本設計図書をHP等で公表（当事者意見を反映）
- 令和9年度以降は実施設計、施工段階で適宜開催

第1回WS実施概要

- 開催日時 令和8年5月23日（土）13:30～16:00
- 開催場所 青森市民病院（集合場所：3階大会議室）
- タイムスケジュール
 - 【13：30～14：00】 集合・説明
 - 【14：00～15：00】 利用状況の現地確認
 - 【15：00～15：30】 意見交換・解散

※手話通訳を必要とする県ろうあ協会関係は、終了が30分程度遅くなる見込み。

ファシリテーター 松田雄二先生の紹介

<所属> 東京大学 工学系研究科 建築学専攻 准教授

<委員歴（2016年以降）>

- 国土交通省, 社会資本整備審議会建築分科会 専門委員
- 福岡県強度行動障がい者支援協議会 委員
- 文京区バリアフリー基本構想推進協議会 副会長
- 国土交通省, 公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討会 委員
- 国土交通省, バリアフリー法及び関連施策の在り方に関する検討会 委員
- 日本建築学会, 建築計画本委員会 委員 等多数

<受賞歴（2025年）>

- 日本建築学会賞（論文）、障害者の生活環境に関する一連の研究, 日本建築学会